

「板橋区DX推進計画2030」(原案) について

1. 素案後の主な変更・修正点



- あいさつ** 区長あいさつ文作成 (はじめに)
- P11~13** 前計画の施策評価 (達成+、達成) の表示変更
- P30~P59** 各施策の具体的事業量を記載
- P46** 創造的業務の時間確保において、区民とのコミュニケーション等、直接的対応について追記

2. パブリックコメント内容

期間：12月10日(水)～12月24日(水)

件数 **3件・3名** (メール：2件、オンライン1件)

受付方法

持参 	郵送 	メール 2件	オンライン 1件	FAX
--------	--------	------------------	--------------------	---------

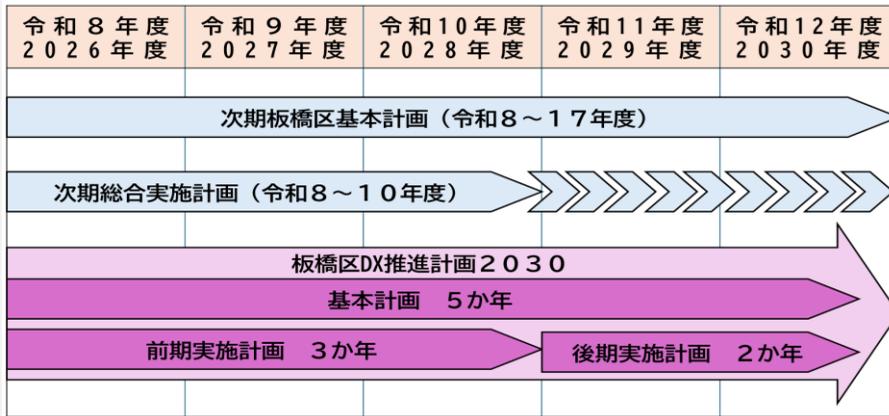
No.	意見内容 (概要)	区の考え方
1	各部署のDX事業をまとめた計画を策定すると事業化や予算化を円滑に進めることができる。	DX事業を統合的にまとめ、計画的に推進することは重要な取組と考える。今後、事業全体の進捗管理や成果をより分かりやすく提示できるよう努める。
2	各施策や他分野(関連施策)と連携が良くとれている。希望する点は、区の政策PRであり、区の紋章の活用や標語を添えるなどして、区政をアピールしてほしい。	区の政策PRについては、計画内で示しているとおり、「情報発信の強化」に努め、効果的にPRできるよう取組む。
3	産業分野におけるDX支援について。 区内中小・小規模事業者向けのデジタル・デバйд解消、中小企業診断士等の専門家を活用しつつ中小企業を伴走支援する体制の構築を希望。また、先進企業や自治体の業務効率化事例を中小企業に紹介・普及させ、底上げを図るべき。	産業分野におけるDX支援については、現在、個々の相談対応や一部事業において実施している。意見内容を踏まえ、関係課と連携し、現取組の拡充など、今後、検討を進める。

3. 計画内容について

第1章 計画の策定にあたって (P3~P6)

計画策定の趣旨・計画期間

- 人口減少や労働力不足、AIなどの先端技術の進化を背景に、最新のデジタル技術を活用し、区民サービスの更なる向上と行政運営の効率化を一体的に推進するため「板橋区DX推進計画2030」を策定する。
- 計画期間



第2章 計画策定の背景と区を取り巻く環境 (P9~P21)

区を取り巻く環境



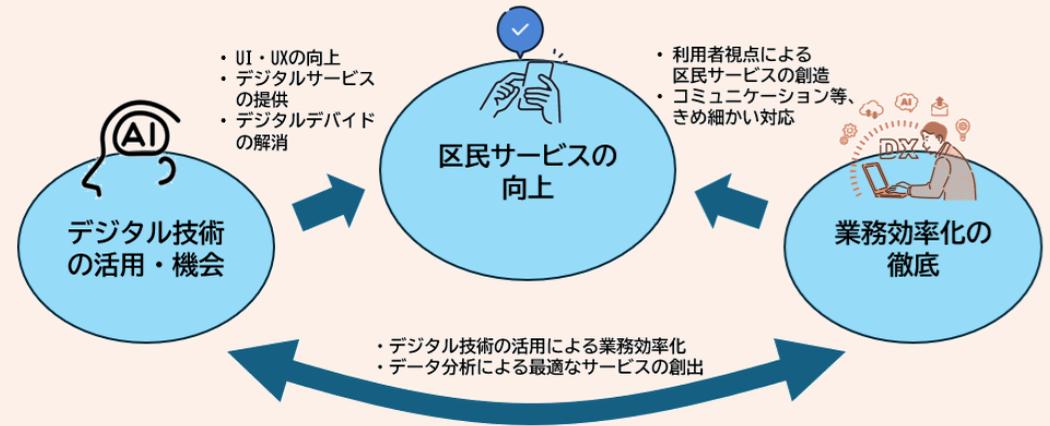
第3章 基本計画 (P24~P25)

基本計画について

区民サービスの質を高めるため、「利用者中心」の視点を重視し、誰もが使いやすさを実感できるデジタルサービスの実現をめざす。

基本方針

サービスデザイン (利用者中心) の視点で変革する
誰もが使いやすいデジタルサービス



- 誰もがデジタルを意識せずに便利なサービスを受けることができるよう、UI (ユーザーインターフェース) ・UX (ユーザーエクスペリエンス) を重視する。
- ホームページやオンライン申請をはじめとするデジタルサービスは、誰もが迷わず情報を取得でき、サービスを利用できるよう環境を整備する。
- AIやデータ分析により個々に最適なサービスを提供し、併せて職員の業務効率化とデジタル人材育成を進め、区民対話や新サービスの創造に注力する。
- サービスデザイン (利用者中心) の考え方を浸透させ、真に区民に寄り添った行政へと変革していく。

第4章 前期実施計画（P28～P59）

前期実施計画における6つの重点方針及び各施策（概要）について

前期実施計画は、6つの重点方針を掲げ、それぞれに令和8年度から令和10年度までの間で実施すべき施策を示し、基本計画の前期3年を着実に推進していく。

 **重点方針Ⅰ「オンライン化の拡充、窓口DX」**
施策1・2

- **行政手続きのオンライン化拡大**
R10年度目標：オンライン化対応率96%、R6年度実績：78%
- **オプション機能を活用したオンライン化推進（決済機能、本人確認、電子文書送付機能等）**
R10年度目標：各種機能の活用10フォーム
- **窓口DXにつながる取組の推進**
R10年度目標：実施取組1件以上

 **重点方針Ⅱ「情報発信の強化」**
施策3～5

- **区ホームページの検索性向上**
R10年度目標：ページ改善
- **DXポータルサイト構築・運用**
R10年度目標：サイトアクセス数3,300件
- **LINE情報発信数**
R10年度目標：1,000件、R6年度実績：779件
- **行政刊行物のデジタルデータの公開・拡大**
R10年度目標：コンテンツ拡充

 **重点方針Ⅲ「AI・データ利活用」**
施策6～9

- **生成AIを組み込んだ業務アプリの作成、区民サービスへのAI活用**
R10年度目標：7アプリ作成、新サービス活用検証
- **データ利活用基盤の構築・運用、ダッシュボードの作成・公開**
R10年度目標：利用データの拡大・運用、ダッシュボード作成5件、R6年度実績：1件
- **AI・データ利活用における人材育成**
R10年度目標：生成AIアプリ開発者20名
データ利活用教育受講者20名

 **重点方針Ⅳ「人材育成 板橋区モデル（KUROOBI）」**
施策10・11

- **研修コンテンツの開発**
R10年度目標：4コンテンツ
- **基礎スキル研修の実施**
R10年度目標：受講者420名
- **シン・DXリーダーの認定**
R10年度目標：20名
- **業務アプリリリース**
R10年度目標：240アプリ作成

 **重点方針Ⅴ「創造的業務の時間確保」**
施策12～15

- **RPA拡大**
R10年度目標：削減時間2,500時間以上、R6年度実績：1,644時間削減
- **ローコードツールの利用拡大**
R10年度目標：5アプリ作成、削減時間300時間以上
- **よろず相談DX実施**
R10年度目標：相談件数80件以上、事業化40件以上、R6年度実績：相談件数81件、事業化34件
- **テレワーク実施回数・推進に向けた検討実施**
R10年度目標：4,000回、R6年度実績：3,618回

 **重点方針Ⅵ「外部との連携」**
施策16

- **東京都またはGovTech東京伴走支援等による協働事業**
R10年度目標：3事業以上参加、R6年度実績：1事業参加
- **Tokyo区市町村DXawardへの参加**
R10年度目標：2件以上参加、R6年度実績：8件参加

関連施策 (多角的なDXの推進)

重点施策で掲げた施策のほか、先端技術の活用に加えて、多角的にDXを推進していく。

「まちづくり、情報取得の格差解消、教育ICT、セキュリティ」等 施策17~22

- デジタルやデータを利用した交通サービスの実証実験(まちづくり)
R10年度目標:3D都市モデルを活用した可視化
- スマホ相談会の実施(デジタルデバйд)
R10年度目標:参加人数7,500人以上、R6実績:8,073人
- データ可視化、分析機能の充実(教育ICT)
R10年度目標:ダッシュボード機能の活用及び連携機能の充実
- 情報セキュリティ内部監査の実施(セキュリティ)
R10年度目標:計画に沿った監査を実施

施策一覧

No.	施策名	ページ
	重点方針 I オンライン化の拡充・窓口DX	30
1	手続き・サービスのオンライン化拡大と強化	33
2	窓口での行政手続きにおける利便性の向上	33
	重点方針 II 情報発信の強化	34
3	区ホームページの改善	36
4	SNSによる情報発信の拡大	36
5	区の作成する行政刊行物のデジタル公開促進	37

	重点方針 III AI・データ利活用	38
6	AI活用による内部業務の効率化と区民サービスの向上	41
7	AI・データ利活用における人材育成	41
8	データ利活用基盤の整備・情報共有の高度化	42
9	データに基づく政策・施策検討の定着	42
	重点方針 IV 人材育成 板橋区モデル (KUROOBI)	43
10	DX基礎スキルの底上げ	45
11	シン・DXリーダーの創出と業務改善DXの拡大	45
	重点方針 V 創造的業務の時間確保	46
12	ツール活用による業務改善・効率化	51
13	業務システムによるペーパーレス化促進	51
14	各部署のDX推進支援の実施 (よろず相談DX)	52
15	働き方改革の推進	52
	重点方針 VI 外部との連携	53
16	組織を超えた支援・連携による新たなサービス創出と業務変革	55
	関連施策	56
17	新技術を積極的に活用したまちづくり	56
18	誰でも活用できるデジタル環境の整備	57
19	学校における教育ICT環境の充実	58
20	セキュリティと個人情報の適切な管理・保護の徹底	58
21	全庁LANシステムの最適化	59
22	基幹系業務システムにおける標準化・共通化	59